

今、社会に必要とされている共創型人材とは

共創型ステークホルダーズ・ ミーティング ～社会を支える共創型人材を目指して～

令和7年

7/12 土

13:00～15:30



← お申し込みは
二次元コードから

<https://forms.office.com/r/9Mmwzw0mR5>

会 場

グランシップ 11階 「会議ホール・風」

〒422-8019 静岡市駿河区東静岡 2-3-1

※対面での開催を基本としますが、Zoom でのご参加も可能です。詳しくは二次元コードより。

ゲスト

内藤 圭吾 氏（静岡県 経済産業部産業革新局産業イノベーション推進課・課長）

井出 雄大 氏（株式会社静岡銀行 地方創生部地方創生グループ・課長）

渡邊 俊 氏（富士商工会議所 青年部政策提言・地域資源活性委員会・委員長）

内 容

プログラムに関しては、裏面をご参照ください。

主な対象

人材育成に関心のある行政関係者、各種企業、学校関係者の皆様

定 員

約 300 名（会場参加者）

申込方法

掲載の二次元コードにしたがってご応募ください。

お申し込み〆切：令和7年7月4日（金曜日）



お問い合わせ先

静岡大学グローバル共創科学部事務部

TEL 054-238-3712 mail: global-s@adb.shizuoka.ac.jp

【主 催】 静岡大学グローバル共創科学部

【後 援】 静岡大学未来創成本部

ミーティングの趣旨・概要

「社会を支える共創型人材を目指して」

グローバル共創科学部は、令和5年4月の開設以来、文理融合型・社会連携型カリキュラムの在り方を追求しています。その中で、“共創”の理念や手法を開発・検証するために「カリキュラム・マネジメント事業」を実施してきました。この“共創”の実現を真に意味あるものとするためには、学外の多様なステークホルダーのみなさまとともに、その開発・検証を進め、卒業生を共創型人材として送り出していく必要があります。また、共創型人材の育成や卒業後の活躍を後押しする社会を構築するためには、本学部が育成しようとする共創型人材の有用性や意義について、ステークホルダーのみなさまをはじめとする地域社会と共通理解を図っていかねばなりません。

そこで本ミーティングは、ステークホルダーのみなさまとともに、社会が求め、本学部が育成する共創型人材とはどのようなものかについて議論し、これからの連携のスタートアップの場としたいと考えています。

— 当日のプログラム —

【開会挨拶】

日詰 一幸（静岡大学・学長）

【基調報告】

- ・趣旨説明および人材育成ニーズ調査結果について

川崎 和也（静岡大学グローバル共創科学部・学部長補佐）

【パネルディスカッション】

- ①内藤 圭吾 氏（静岡県 経済産業部産業革新局産業イノベーション推進課・課長）
- ②井出 雄大 氏（株式会社静岡銀行 地方創生部地方創生グループ・課長）
- ③渡邊 俊 氏（富士商工会議所 青年部政策提言・地域資源活性委員会・委員長）

コーディネーター：江口 昌克（静岡大学グローバル共創科学部・学部長）

青木 憲治（静岡大学グローバル共創科学部・准教授）

【閉会挨拶】

朱 曄（静岡大学グローバル共創科学部・副学部長）